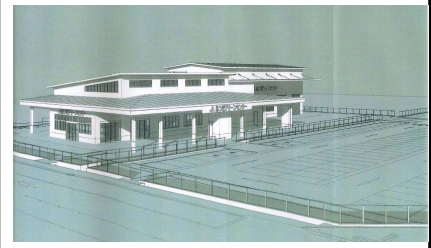


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)JAあつぎ営業・経済センター	階数	地上2F
建設地	厚木市三田字蟹淵1827番1の一部ほか9筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	39人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,212時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年8月1日
敷地面積	7,822 m ²	作成者	株式会社小島組 一級建築士事務所
建築面積	2,351 m ²	確認日	2023年8月2日
延床面積	2,352 m ²	確認者	株式会社小島組 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
厚木市内にて、店舗・工場の複合用途の直売所をS造2階建てで計画した。		・特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・快適な室内環境を整えられるよう努めた。	・空間にゆとりを持たせるような設計とした。	・特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BPIm=0.74, BEIm=0.71, LED照明設備を採用した。	・LGSF地の採用で部材の再利用向上へ努めている。	・特になし

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される